

Small Talk台本①（第2時・第4時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。5年は先生の話聞くことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく本当の気持ち・本当の出来事を話す。

話題1 先生のすきなもの（第2時）

板書：I like ～. すき！ [soccer / music / sushi の絵カードを貼る]

T Hello, everyone! Look! (絵カードを見せる) I like soccer. Soccer!

みんな、こんにちは！ 見て。先生はサッカーが好きです。サッカー！

T I like sushi, too. Sushi! Yummy! Do you like sushi?

おすしも好き。おすし！ おいしいよね。みんなはおすし、好き？

S Yes! / No!

（挙手や声で反応できれば十分）

T Oh, nice! I like dogs. Dogs! Do you like dogs? Cats?

いいね！ 先生は犬が好き。犬！ みんなは犬派？ ねこ派？

T Wow! Many cat fans! Thank you, everyone!

おお、ねこ派が多い！ ありがとう！

つまった子への助け舟：答えられない子には Yes? No? と2択で聞き、指さしやうなずきでOKにする。

話題2 名前のひみつ（第4時）

板書：How do you spell your name? なまえのつづり [黒板に T-O-M-O-K-O のように書きながら]

T Hello! I'm (Tomoko). T-O-M-O-K-O. Tomoko!

こんにちは！ 先生の名前は（ともこ）。（1文字ずつ黒板に書きながら）T・O・M・O・K・O！

T My name has 6 letters. Six!

先生の名前は6文字です。6！

T How many letters in your name? Count!

みんなの名前は何文字かな？ ローマ字で数えてみよう！

S (指で数を出す) Five! / Four!

（数字なら英語で言いやすい）

T Nice! Today, let's ask: How do you spell your name?

いいね！ 今日「つづりを教えて」って聞けるようになろう。

つまった子への助け舟：自分の名前のローマ字が不安な子が必ずいる。机間巡視で先に名前カード（書きWS①）を確認しておく。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

1回目のあとに全体で：「今、Me, too! って言えた人？」「Nice! って返せた人？」と挙手させ、反応のことばを1つ選んで全員で練習→2回目はそれを使う、と1つだけ課す。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・台本は一言一句このままでよい（読み上げOK）。大事なのは英語のうまさではなく、本当の「好き」を話すこと
- ・絵カードを見せながら話すと、英語だけで意味が伝わる（日本語訳を言わない方が集中して聞く）
- ・5年のSmall Talkは「先生の話聞く」が中心。子どもに長く話させようとしなくてよい（それは6年の型）